



## 新津第一小学校

現在 すてきなミライ

### 佐渡ではどんなPRをしているの？

私たちの町を元気にするために自分たちに何ができるのか？それを探るために、世界遺産登録に向け、内外にPRしている佐渡の取組を見てきました。新津がもつ「歴史」や「自然」、「施設」や「人の良さ」などの観点で活性化が可能だと感じました。



小学生が、佐渡の古い町並みや歴史をガイドしてるなんて、すごいなあ。

明治30年の開業、「鉄道のまち新津」は、昭和57年の新幹線開通とともに停車する列車が減りましたが、平成6年にはJR東日本初の自社車両製造工場が操業を開始し、今なお鉄道にとって重要な町です。

新津第一小学校には、SL(C57 180)が平成9年まで保存されていました。平成11年にそのSLは再び線路上を走行することになりました。

新津駅周辺の商店街では、「鉄道」をキーワードに活性化に取り組みしており、キャッチフレーズは「にいつ鉄道商店街」。SLの動輪を黒く、アーケードの色を国鉄時代の特急列車の色にする、蒸気機関車や特急列車をシャッターアートにする、などの工夫をしています。

商店街にほど近い秋葉山は自然豊かな所です。27年度に完成したAkihaマウンテンプレーパークでは、子どもたちの自由な発想で様々な遊びを体験することができます。

### 新津の魅力再発見！

まず、調査活動を行いました。その中で、活性化できるアピールポイントを見つけ、グループに分かれて取材し、新津をPRする新聞「週刊ミライ」にまとめました。



#### 【新津鉄道資料館】

一小的校庭に昔あったC57があり、乗って見られます。鉄道運転シミュレーターは鉄道の運転体験ができます。すごく楽しいです。

新津には、鉄道や秋葉山など、様々な魅力があるんだね。

#### 【にいつハロウィン仮装まつり】

10月下旬に開催！一小的子どもたちがジュニアスタッフとして、ゆるキャラの誘導やスタンプラリーのお手伝いなどに参加しています！



仮装まつり  
キャラクター  
【Akiha】



#### 【昭和基地一丁目C57】

駄菓子屋は常時300種類以上置いてあり、昭和の遊びや学校給食も体験できます。小さい子どもも、昔子どもだった大人の人もみんなが楽しめる場所です。楽しいこといっぱい場所です。



#### 【Akihaマウンテンプレーパーク】

一小6年生の考えたツリーハウスが完成しました。ここでは、秋葉山の自然を利用して木登りやプランコなど自分で考えた遊びを自由にできます。



### 発信活動「新聞配布大作戦！」

新津に多くの人々が訪ねてくれることを願い、新津の魅力載せた新聞を作りました。鉄道だけでなく、自然や祭りなどの魅力が伝わる見出しや写真を工夫し、新津駅で配りました。新聞をよく読んでくれる人や後日感想を留めてくれる人など大好評でした。活動に対する評価をもらって、励みになりました。

「SLばんえつ物語」号の乗客に配布した新聞(全12種類)。新津中央商店街「0番線待合室」来て基地で読めます。



ばんえつ物語号に乗車して、先ほど新津駅で「週刊ミライ」号外を受け取りました。高視が上越出身で新潟には数え切れないくらい訪問しているけれど、新津が鉄道をPRしていることを初めて知りました。(乗客の方からのメール)

新聞を読んで、良ければ次回は、新津に立ち寄り、いろいろなどを見て回ってください。



新聞をたくさんもらってくださりありがとうございます。ぜひ、新津にまた来てください。

新津の魅力がたくさん書かれていました。中でも「新津の人は魅力的」という記事がありましたね。私は、こういった取組をしている新津第一小学校6年生の皆さんがとても魅力的に感じました。新津活性化を考える皆さんが、もうすでに「新津の顔」になっている気がします！(乗客の方の手紙)



「SLばんえつ物語」号  
4月から11月頃まで週末運行中！



### 子どもの声



ぼくは新津活性化のアピールポイントとして駄菓子屋のC57を選びました。C57は大人も子どもも楽しめる場所です。買ったものを使って近くの公園ですぐに遊ぶところがいいです。親子でお店に来る人は少ないようなので、ぼくたちのPR活動でたくさんのお客さんが来てくれるとうれしいです。



私は、秋葉山をPRするための新聞を作りました。秋葉山には、景色がきれいな秋葉湖や、親子で遊ぶプレーパークがあります。この新聞を通じて、一人でも多くの人に秋葉山を知ってもらい、新津に人がたくさん集まることを願って書きました。取材で出てきた問題点を改善するための具体的な案をプレゼンで発表し、たくさんの人に聞いてもらいました。



私は、新聞配布に行く前、新聞をもらってくれるか心配でした。でも、行ってみるとたくさんの方が新聞をもらってくれました。新聞をもらってくれる人が思ったより多くて、びっくりしたけれど、とてもうれしかったです。